

Greeting from WASEDA

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 鈴木克彦



第66回早慶バドミントン定期戦開催、誠におめでとうございます。これまでの長い歴史を築き上げて来られたのも、ひとえに早慶OB・OGの皆様方のご尽力であり、現役諸君には、常に感謝の気持ちを忘れずに本定期戦に臨んでもらいたいと思います。

さて、この原稿を執筆した8月末には、本学OBで現日本代表でもある嘉村健士君が第24回世界バドミントン選手権大会男子ダブルス種目にて見事に日本史上初の銀メダルを獲得しました。嘉村君は本学スポーツ科学部出身であり、2年後の東京オリンピックには校友として出場される事を強く願っております。また、嘉村君以外にもバドミントン日本代表が昨今各世界大会で大活躍しており、バドミントン種目自体が日本全国で注目されるような競技種目となっております。現役諸君においては、自分自身及びそれぞれのチームが将来のバドミントン界を背負っていくのだという意気込みをぜひ持ってほしい、東京オリンピック開催時には、競技選手としての参加だけでなく、選手を支援する側、応援する側など、どのような形でもバドミントン競技にぜひ関わってほしいと思います。今後もぜひ各自が定める目標に向かって練習に励み、本定期戦も含め在学中に最高の結果を残してほしいと思います。

最後になりましたが、両校の現役諸君及びOB・OGの皆様方が本大会を通じてより一層の交流が深まることを祈念致します。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 登坂 洋



第66回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。

今年の日本バドミントン界は、トマス杯、ユーパー杯、世界選手権、アジア大会において優勝、準優勝等素晴らしい成績を残し、その主将として早大OB嘉村健士選手が活躍いたしました。

私の学生時代には、慶大OB宮永武司さん、早大OB堺栄一さんがトマス杯等で活躍されました。

お二人が早慶戦で活躍された姿が、今も目に浮かびます。

さて、今年の早大夏合宿は、猛暑の中茨城で行われ、十分な走り込みとストロークの反復練習を行い、体力と攻撃、防御の確実性を高め、その結果として、東日本選手権で団体男子優勝、女子3位個人男子単複優勝、3位、女子単複3位という好成績を収めました。

東日本とインカレは、2複3単で時間短縮のためか、常に2コート使う並行試合で単複ともに出る選手は、休む間もなく試合が連続し、毎年有力選手が負傷敗退しています。

今、関東学連で、1部2部を8校に増やし、7日間試合を行うか午前午後2校との対戦を行うか検討されているようです。

私は、1部2部6校のまま、開始時間を早め以前のように3複4単の試合とし、リーグ戦出場のを増やして、少しでも学生時代の春秋の思い出となればと思います。

東京6大学の監督、OB会長の中にも、同意見の方々がおられますが、いかがでしょうか。

本日の早慶定期戦は、総力戦であり4年生にとっては学生生活最後の団体戦です。

両校選手諸君には、一生の思い出となる定期戦ですので、昨年みられた大熱戦のような奮闘を期待いたします。

Greeting from KEIO

部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 岸田和明



今年はいつにもまして、大雨や台風、地震による悲しいできごとが多発しています。災害に遭われた方々へ心よりのお見舞いを申し上げます。そのような状況の中で、再び、早稲田大学と慶應義塾大学によるバドミントン定期戦を迎えることができました。開催に尽力された関係者の方々に御礼申し上げるとともに、これまで定期戦の歴史を積み重ねられた皆様に、深く敬意を表します。我々は、我我としてできることを精一杯やるほかはありません。

言うまでもなく、各種競技における「慶早戦」は、早稲田大学・慶應義塾大学両校にとって他の公式試合とはまた違った意味をもつ、たとえ実力差があったとしても、負けることのできない重要な一戦です。格上の早稲田に対して、慶應は意地を見せなければなりません。選手たちが慶早戦ならではの底力を出してくれることを大いに期待しています。

どのような結果になろうとも、「ノーサイド」(他競技の用語ですみません)の後は、十分に親睦を深め合ってもらえればと思います。大学間の垣根を越えて交わることのできる機会はいかに貴重であり、おそらく「慶早戦」だからこそ与えられるものです。精一杯戦い、語り合い、今日一日を楽しんでください。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 諏訪芳博



昨今のバドミントン界は世界の舞台で数々の素晴らしい戦績を残しています。

その要因の一つには、ジュニア世代の活躍など、バドミントンのすそ野の広がりがあると思っています。

早慶のバドミントン定期戦はバドミントン界のすそ野の広がりのようにそれぞれの部の部員全員の総力(広がり)で戦う伝統ある定期戦です。

現在の慶應は男子が3部、女子が3部という状況で、男女とも1部の早稲田に今年も胸を借りる試合となると思われます。

しかしながら、昨年の男女の主将戦のように観戦し応援している方々に感動を与える試合を期待しています。

そのためには、

- ①最後まで自分を信じて、自分の力を出し切り、自分に納得のできる試合や応援をやり抜くこと
- ②「勝」ことに拘り、気持ちの上で相手に負けないことを大切にして試合に臨んでいただきたいと思います。

永きにわたる歴史と数々の思い出がいっぱい詰まった定期戦ですが、今年は記念会堂でも記念館でもない場所で開催されます。

場所のご提供に早稲田大学の関係者に心より感謝申し上げます。

また、早慶戦の開催にあたり準備等にご尽力いただいた皆さまに感謝し、第66回の早慶定期戦に向けた挨拶とさせていただきます。

現4年生の体制が昨年11月からスタートし、今年も伝統の早慶戦の季節があつという間にやって参りました。毎年の事ながら、変わりなく一同集まって開催できる事を大変嬉しく感じております。

さて、この早慶戦は、昭和28年から一度も途切れることなく開催され、私の知る限りでは、大学バドミントン界において最も回数を重ねた定期戦であり、今年遂には第66回目を迎えることができたのも、ひとえに関係者の皆様方のご尽力によるもので、特に今年は、早稲田・慶應義塾ともに体育館を建て替え中ということで、場所の確保が非常に困難な状態となっております。幸い、本学の東伏見スポーツアリーナでの開催にこぎつけることができました。現役の皆さんの調整に感謝致します。

少し話は変わりますが、今年の7月末から開催された第24回世界バドミントン選手権大会では、本学OBの嘉村健士氏が男子ダブルス種目として日本史上初の銀メダルを獲得しました。昨年度の世界選手権でも同種目で銅メダルを獲得しており、嘉村氏には心から賛辞を送りたいと同時に、2年後の東京オリンピックの舞台でさらなる飛躍を期待したいと思います。また、現役部員には、嘉村氏のような世界最高峰の選手も本定期戦を経験していることをぜひ意識して本定期戦に臨んでもらいたいと思います。

話を戻して、今年度の本学の戦績はというと、現時点(8月末)で男子は東日本学生選手権大会優勝という好成績を残していますが、女子は各大会優勝まではもう一步の状況となっております。本大会の直前に開催されるインカレでは、男女ともにぜひ1年生から4年生まで全員が意欲的に練習に励んで最高の結果を残してくれることを期待しています。

今年の早慶戦は、私自身が監督として参戦3年目となりますが、現役学生、特に4年生(古賀、菅原、難波江、大木、上村、上田、大西、中村、岩崎)には、これまでに培ってきた技術、経験を活かして、慶應の選手らと記憶に残るような名勝負を繰り広げてもらいたいです。

また、1年生～3年生においても、通常の大会とは全く異なる独特な雰囲気を持つ本定期戦に対して、臆することなく日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、チームとして一丸となって本学の勝利を目指してもらいたいです。

最後になりましたが、今年も慶應の現役及びOB・OGの皆様方と本定期戦及びその後の懇親会を一つのきっかけとして両校の友好がさらに深まることを祈念致します。

WASEDA **VS** **KEIO**

祝早慶戦

キッチン **ニュー早苗**

高田馬場から徒歩4分！
日替わり定食はどれも絶品です！

【電話】03-3371-8564

【住所】東京都新宿区下落合1-3-19

日本の学生スポーツ、とりわけ「大学体育会」に今ほどスポットが当たっている時は過去に無いかもしれません。「日本版NCAA」創設に向け、発起人であり元慶應義塾大学塾長でもある安西祐一郎名誉教授をはじめ、現在の座長であられる友添秀則早稲田大学教授ら日本の熱き有識者の方々が力強く推進する一方で、昨今メディアを騒がせている様々なスポーツ競技団体・大学組織でのハラスメントやガバナンスに関する問題が次々に露呈しています。残念なことに、メディアの論調の多くが「体育会」に関してステロタイプな否定的な意見を発していることも事実です。

しかし、私は胸を張って言いたい。「体育会」での精進・研鑽の日々が“胆力ある人間”形成に大きく寄与していることを。古典的で硬直化した指導・組織運営では全くない。諸先輩方の工夫と知恵で築きあげられた文化をベースに、最新のスポーツ理論や栄養管理を取り入れ、大学の枠組みを超えた人々と交流・融合してどんどん進化している。決して変化することを恐れない組織だ。

老若男女問わず、個々が持つエネルギーを思いっきり注ぎ込む競技活動・フィールドを持っている人たちは皆活き活きしている。そして、そこでの活動経験が人間としての体幹を太くする。誰も見ていない所で、自らゴミを拾い、年配の方のサポートができる人間になるのか？それともルール順守と人前では正論吐き、人目の届かないところでゴミを捨て、見て見ぬふりをする人間になるのか？大事なことは、ルールや理屈を頭だけで解ったつもりになるのではなく、体感し汗を流し腑に落ちた考え方を基に、臨機応変に自ら判断できる人間になることだ。「体育会」の活動にはそんな成長ができる機会が溢れている。改めて言わせて頂きたい。「体育会」に所属し頑張っていることに誇りを持って欲しい！

現役選手諸君、早慶両校の数多くの先輩方が営々と築き上げてこられたこの晴れ舞台で、思う存分日々の鍛錬・練習の成果を発揮してください。バドミントンという言葉を通じて、コートの上で、永遠のライバル早稲田大学の現役選手諸君と、一羽一羽、ワンラリーワンラリーを大切に、お互いの生きざまをぶつけ合ってください。きっとかけがえのない一生モノの体験となることでしょう。

最後になりましたが、早稲田大学の現役選手諸君、今年の早慶戦でも、是非、諸君の実力を余すことなく慶應に見せつけてください。慶應は本日の早慶戦で対戦した諸君との試合を糧にして、昨年よりも今年、今年よりも来年へと、着実に一步一步前進して行きます。

KEIO VS WASEDA

各種 生あん
煉あん
ねり

製菓材料の御用は
品質本位の当店へ!!



株式
会社

清水製あん所

本社・工場 横浜市南区中村町3丁目203番地の14 電話 横浜 (045) 261-1523番
ねりあん専門工場 横浜市泉区飯田町 1124 - 3 電話 横浜 (045) 802-1523番

早稲田大学 法学部 平成4年卒

木戸 哲

早慶戦の男子の対戦成績を見るたび、私の目は平成初期に早稲田が2連敗している事実には吸い寄せられます。早稲田が12年ぶりに黒星を喫した平成元年、2年生だった私は伝統の一戦に確か初めて出場して「戦犯」の1人となりました。翌年も同様の結果でしたが、なぜか試合自体の記憶はかなり曖昧です。

ただ、終了後に杯をくみかわしているうちに、慶応の先輩が「この後は俺たちだけで飲む」と言い出しことはよく覚えています。とことん友好を深めるものだと思っていた私にとって、別々に飲むという発言は「掟破り」でしかありませんでした。酔った勢いもあって、涙ながらに抗議したような気がします。

一方で、私は負けた悔しさをすぐに忘れ、仲良く飲もうとしている自身の甘さにも気づいていました。打倒早稲田に懸ける慶応の執念を見せつけられ、このままでは自分は勝てないまま終わってしまうと感じていました。それから練習量を倍にした、というほどではありません。それでも、私は4年生になった翌年の東日本のダブルスでベスト32に入り、学連推薦によるインカレ出場を果たしました（当たるはずだった強豪が負傷棄権したおかげですが、運も実力のうちです）。そして、早慶戦ではダブルスで初勝利！シングルスで力尽き、主務をしながらMVPを取るというひそかな夢はかないませんでした。チームの3年ぶりの勝利になんとか貢献できました。

今の学生のレベルは驚くほど高く、OBと名乗ることが恥ずかしいくらいですが、下手でも下手なりに充実した4年間を過ごせたという自負はあります。努力で慶応に負けたくないと汗を流した日々が、50歳になった今も、体の真ん中を貫く太い柱のように私を支えてくれています。

両校の部員の皆さん、かけがえのない日々を悔いなく過ごして下さい。66回目の熱戦に心からのエールを送らせていただきます。

頑張れ早稲田！ 頑張れ慶応！

WASEDA

早慶戦
に
寄せて

KEIO

早稲田大学 人間科学部 平成19年卒

長谷部 悠

第66回早慶バドミントン定期戦の開催、誠にありがとうございます。途絶えることのないこの伝統の一戦が今年もまた開かれること、OBとして大変嬉しく思います。

大学4年間の中で多くの公式戦、定期戦がありましたが、この早慶戦ほど独特な緊張感と雰囲気を持つ試合はないのではないのでしょうか。

幸せなことに私自身は1年生の時から早慶戦に参加させていただきましたが、4年生の最後の早慶戦では完全に慶応の勝利への執念に圧されて、1ゲーム落としながら辛くも勝利した記憶が今でも鮮明に蘇ります。勝因はファイナルゲーム前に当時の監督の今井さんに「ちゃんとやれ」と叱られ、我に返ることができたためでした。真剣にプレーしていたのですが、周りにはそうは映らないほどあの早慶戦の独特な雰囲気に飲まれていたことに気づきました。今では非常にいい経験をさせていただいたと思います。

OBとなって早慶戦の応援に行く度に思うことは、何年経ってもこの独特な雰囲気は失われず、毎年予測もしないような名勝負が生まれているなあ、ということです。これは日々鍛錬を積み重ね、勝利への執念を強く持ち続ける両校の選手たちがぶつかり合うからこそだと思います。

今日本ではバドミントンが非常に注目されています。テレビで観るような試合にも負けられないほどの熱戦が今年の早慶戦でも繰り広げられるよう期待を込めるとともに、選手の皆さんが最高のプレーで臨めるよう、ご健闘をお祈り申し上げます。

慶應義塾大学 商学部 平成2年卒

井上 雅博

第66回 慶早バドミントン定期戦の開催を心よりお祝い申し上げます。

今年も両校のプライドを掛けた熱い戦いを観戦できますことを楽しみにしております。

真偽のほどはわかりませんが、慶早戦はケンブリッジ大対オクスフォード大のボートレース、ハーバード大学対エール大学のフットボールと並んで世界三大学生競技と称される、という話もあるくらい歴史のある定期戦です。遡ること数十年前にメンバーの端くれとして出場させて頂きました敵地開催での慶早戦では慶應義塾のユニフォームを身につけ塾の代表として戦うんだという過度な妄想を抱き異常な昂揚感をもって入場した記憶があります。当時からやはり早稲田との実力差はあり、華々しい戦歴もないメンバー一同で臨んだ大舞台でした。どの競技でも同様かと思いますが、いざ慶早戦となるとなぜか普段の実力以上のプレーができてしまうという不思議な空気感があります。

その時もやはり慶早戦独特の雰囲気の中、メンバー各々が加藤主将の打倒早稲田の強い気持ちのもと、全員が100%以上のパフォーマンスを発揮できたおかげで勝利をつかむことができました。個々の力は弱くともメンバー一同が大きな目標にむかって気持ちを一つにしたことが大きな力となり奇跡的な勝利に結びついたのかな?と慶早戦を観戦するたびに当時のことを思い浮かべると身体がポッと暖かくなります。

さて、今年も早稲田有利はゆるぎない事実であり個々の実力差もあるかとは思いますが、

歴代の諸先輩方、あるいは皆を応援している関係者の方々の熱い思いを味方に歴史的勝利を掴んで頂けることを祈っております。

早稲田の皆様も是非手加減などせず叩き潰す気持ちで学生バドミントン最高峰のパフォーマンスを見せて頂きたいと思います。

最後にこの素晴らしい定期戦開催のため今年もあらゆる方面から支えて頂いた諸先輩方、現役部員の皆様、そして関係者の皆様に心より感謝、御礼申し上げます。

引き続き慶早戦経験者の一人として末永く応援させて頂きたいと思います。



慶應義塾大学 文学部 平成11年卒

後藤 順子 (旧姓:山本)

慶早定期戦の開催にあたり、心よりお慶びを申し上げます。

20年以上前の現役生活を振り返り、慶早戦について印象に残っていることを思い出したので挙げてみます。

- ①慶應義塾女子高1年生時代、初めて観戦した慶早戦の主将戦 (奥出さん対藤本さん) に大変感動。大学でバドミントン部に入部したらこの舞台上で出来るんだとワクワクしたこと。
- ②大学1年生の時のダブルスで同期の小方と組み、負けはしたものの、格上の早稲田相手に多少善戦出来たこと。
(9割は聖ウルスラ出身の小方のおかげでしたが・・・)
- ③4年間通して、私の慶早戦の通算成績は1勝7敗。ほとんど負けた記憶しかありませんが、4年生の時のダブルスで初めて早稲田に勝って嬉しかったこと (こちらも9割は園田学園出身の後輩岩部の頑張りのおかげです)。嬉しさの余り、普段はしないガッツポーズをついしてしまったこと。
- ④応援指導部のチアリーダーの友人たまちゃんが「じゅんこちゃん頑張りー」と叫びながら応援してくれて嬉しかったこと。
現役生活の細かい思い出は正直色々忘れてしまっていますが、これらの思い出だけは多分一生忘れたいと思います。
現役の皆さん、平成最後の慶早戦、みんなの思い出に残るような熱い試合で盛り上げましょう。

早稲田大学 スポーツ科学部 平成27年卒

上田真帆

第66回早慶バドミントン定期戦が今年も盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

伝統ある早慶戦に卒業した今でもこのように関わることができ、喜びの気持ちもさることながら感謝の気持ちでいっぱいです。

今まで66回と開催されてきた早慶戦ではその回数だけドラマがある事と思います。

私が4年生で主将をさせていただいたときには、女子は私を含めシングルスで3本とられ連勝記録をストップさせてしまう結果になり、今思い出しても悔しさがよみがえってきます。男子もインフルエンザが流行し、メンバーが足りない中での定期戦となりました。最後の主将戦では必死に応援をしたのを今でも鮮明に覚えています。

また早慶戦ならではのプログラムもとても印象深く、とても楽しみにしていました。プロフィール写真や、選手のコメント等、その代のカラーが出ており読み込んでいました。今年も楽しみにしています。

社会人になった今でも早慶出身の方と関わる機会があり、大学の話で盛り上がりよくしていただくことが多々あります。早慶戦は伝統の一戦という重要な戦いでもあります。人の輪も広げられる場でもあります。学生の皆様には、試合で全力を尽くし自信のドラマを作り上げるとともに、人の輪をより広げて頂ければと思います。

最後になりましたが、今大会を開催するにあたり尽力頂きました方々に感謝申し上げます。早慶両校のますますのご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



祝早慶戦

ことぶき整骨院

【受付時間】 平日9:00~20:00 土曜、祝日9:00~17:00
日曜休診

スポーツ外傷・骨折・脱臼・捻挫などの手当を中心に身体全体のバランスを整え、姿勢を良くしていくお手伝いをしていきます。

【電話】 04-2925-8488

【住所】 埼玉県所沢市東町7-7ツインガーデン101

早稲田大学 スポーツ科学部 平成30年卒 (前年度主将)

松本康平

第66回早慶バドミントン定期戦が今年も開催されますこと、誠にありがとうございます。由緒ある一戦にかかわることが出来ることを心より喜び申し上げます。

昨今の定期戦は以前にも増して盛り上がりを見せており、OB・OGをはじめとする来場者の数も増えており、早慶両校関係者にとっては欠かせない大変大きなイベントになっていると感じております。66年という長い歴史を誇るこの定期戦は、OB・OGの皆様などの観戦者それぞれに様々な思い出を蘇らせてくれるものであると考えております。気が付けば私も卒業生として定期戦を迎えることになりました。入学したばかりの一年次の早慶戦は、他の大会とは大きく違う雰囲気にとっても緊張していた思い出があります。昨年の早慶主将戦では慶應の上村主将とファイナルゲームの接戦の熱い試合を繰り広げたことが思い出されます。是非今年も昨年の主将戦の様な白熱した試合を早慶両方の選手にしていきたいと思います。

また、定期戦後の懇親会も早稲田・慶應ならではのイベントであると感じております。それまで、敵同士であった両校の選手がラケットを置き、盃を交えることによって友情を育む懇親会はこの定期戦には欠かせない伝統です。早稲田・慶應双方の学生からOB・OG様まで、とても多くの方々と親睦を深めることが出来る貴重な機会をこれからも大切にしていってください。

最後にはなりますが、今大会を開催するにあたり運営に尽力して下さった方々、また常に両校の発展を願い、支え続けてくださるOB・OGの皆様へ感謝申し上げます。両校の熱い戦いを期待するとともに、更なる活躍を祈念いたしまして、私の挨拶と替えさせていただきます。



横浜家系ら～めん

武道家

新宿区馬場下町62白馬ビル1F

☎03-3205-3245

ライス15時まで無料

慶應義塾大学 文学部社会学専攻 平成30年卒 (前年度主将)

上村 聡

第66回慶早バドミントン定期戦の開催、誠にありがとうございます。

昨年、慶應義塾体育会バドミントン部主将としてコートに立ち、皆様の前で学生最後の試合をさせていただいた緊張と感動、そして勝ちきれなかった悔しさが昨日のこのように思い出されます。大応援の中、全力で強敵早稲田大学に挑む。この経験は、私の中に深く刻まれており、今後の人生においてもかけがえのないものになると確信しております。

私は今年で66回目の開催となるこの定期戦を「晴れ舞台」と考えます。先輩方が連続と紡がれてきた慶早両部の歴史を感じながら、1年間の練習の成果を存分に発揮して試合に臨むことができるからです。現役の皆さんにはぜひ、この伝統ある定期戦においてコートに立つことができる感謝と誇りを胸に、実力の全てを出し切り、これまで以上に熱く激しい戦いをすることで慶早定期戦に新たな歴史を刻んでいただきたいと思っております。

最後になりますが、今回の慶早バドミントン定期戦が素晴らしい戦いになること、また今後の両校の更なる活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



祝 早慶バドミントン定期戦

いつもご利用ありがとうございます。

OB・OGの皆様にも同窓会・クラス会・各種パーティーのご予約承っております。

慶應義塾日吉ファカルティラウンジ

営業時間 AM 11:00~PM 8:00

定休日 日・祝日 (パーティ予約については応相談)

今年で66回目となる伝統ある早慶戦を迎えられたことを心から嬉しく思います。また、大学生として競技人生最後となる試合が伝統ある早慶戦であることを誇りに思います。早慶戦を開催するにあたり多くの方々のご協力をいただきました。早慶戦を支え、応援して下さる方々のためにも日頃の努力の成果を発揮して、部員全員で優勝を目指します。

昨年の早慶戦が終わり、松本前主将から早稲田大学バドミントン部の主将という立場を引き継いでから1年が経とうとしています。この1年を振り返ってみますと、4大会アベック優勝という目標達成のために1から組織作りを行いました。目標達成に向けて今まで経験したことのない努力を重ね、大きな壁にぶつかることがありましたが、同期や後輩と試行錯誤しながら部員全員で乗り越えてきました。目標達成のために1から組織作りを行うことで部員には苦勞をかけましたが、真剣に全力で取り組んでくれた同期や後輩に感謝しています。そして今日、1年間の成果を出し切り、早慶戦優勝という誇れるものを来年に引き継げるように、全力で戦います。

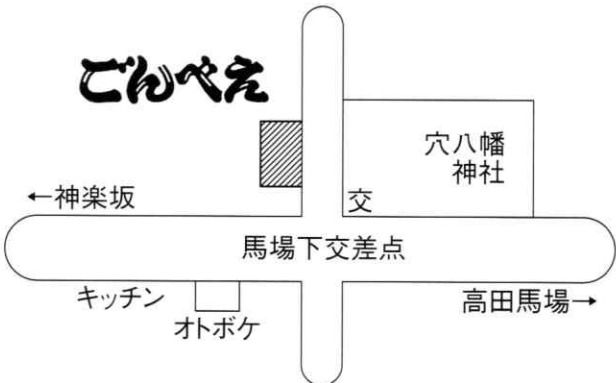
最後になりましたが、早慶戦の開催にあたりご協力いただいたOB、OGの方々をはじめ、全ての方に感謝申し上げます。今年の早慶戦も部員全員が全力で気合いのこもった戦いをお見せしたいと思います。

WASEDA KEIO

手打うどん

ごんべえ

ごんべえ



←神楽坂

穴八幡神社

交

馬場下交差点

キッチン

オトボケ

高田馬場→

新宿区馬場下町18番地 ☎3202-3550

初めに、今大会を迎えるにあたりご尽力いただきました関係者の皆様、また歴史ある大会を今日まで紡いできてくださった両校OB・OGの皆様に厚く御礼申し上げます。

本年で66回を数える早慶バドミントン定期戦という伝統の一戦をこの東伏見スポーツセンターで開催できまこと、そしてこの伝統の舞台に主将として臨むことができますことを、大変誇らしく、名誉に感じております。

私はこの大会を「人生の節目」であると考えています。これまでバドミントンと15年間向き合ってきましたが、自分で考え、行動し、結果を受け止めるというプロセスを歩み、人として大事な力を学ぶことができたのは、この大学4年間でとても大きかったと感じています。特に今年は、男女共に同じ時間に同じ場所で練習をするようになり、記念館の改修工事によって練習場所が変わり、環境の変化が大きい年でした。答えのない問題に取り組むことはとても苦しかったですが、何としてもチームを1つにしたいという想いが私を突き動かしてくれました。そして、その大学4年間の最後の大会であるこの早慶戦は、私にとって最も思い出に残る大会になることは間違いありません。これまで歩んで来たバドミントン人生の集大成を発揮し、最高のパフォーマンスを発揮することをここに宣言致します。

ここまでチームが戦い抜くことができたのは、ひとえに監督やコーチをはじめ、OB・OGの皆様、保護者の方々など、いかなる時であっても私たちを気にかけて、ご支援、ご声援をいただいたすべての方々のおかげです。

今日、最後の早慶戦という舞台で躍動することを誓い、主将挨拶とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! その他のパーティーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内

TEL 03(3453)5971 FAX 03(3453)5971

WASEDA



主将
古賀 穂
スポ科4
富岡(福島)

早稲田の絶対的エース。バドミントンに対してのストイックさは半端ないって。イケメン、強い、真面目。まさに超人といったところ。でも Twitterの内容は堅すぎるのももっと気楽な吹きがみたいなあ



副将
菅原 栄史
スポ科4
聖ウルスラ英智(宮城)

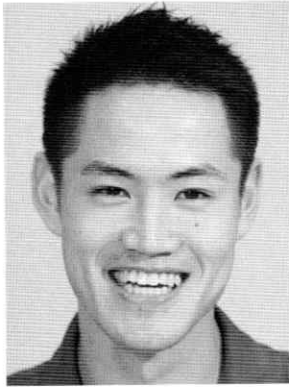
見た目はチャライが中身はとっても優しく紳士。でも実はチャライ。コミュニケーション高め。ツボが浅くよく笑います。イイ声が好き。みんなに愛されるイケメン。彼自身の本音を知っている者はいるのだろうか…



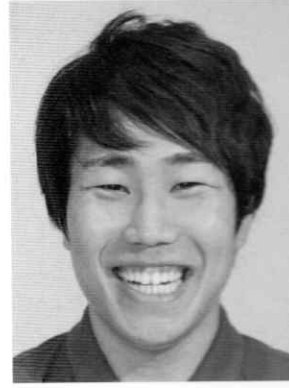
難波江 諒
基幹理工4
早大本庄(埼玉)
言葉のチョイスとキレは部内でピカイチ。基本的にどの発言も面白い。真面目な部の話し合いでも切り込んで発言できるキレ者。やっぱり頭が良い。そんな彼は夢への一歩としてパイロットになる。高収入。ご馳走様です。



大木 貴裕
教育4
早大本庄(埼玉)
The 堅実。彼の声出し、合い、コート内で胸から着地する飛び込みは名物。奥義は超低速スマッシュ。これらは早慶戦でも見せてくれるだろう。奥義が決まるところを見たい。プライベートは相変わらず充実していそうだ…



主務
上村 賢
文構4
西武台(千葉)
主務。部の頭脳であり、彼がいなければ部活は機能しない。休部を経て筋肉は多少衰えたが爆裂スマッシュ&ブッシュは健在。本気出すと女子相手にも容赦ない。部内の変態ランクはダントツ。ああ…もっと彼の変態さを記したい。



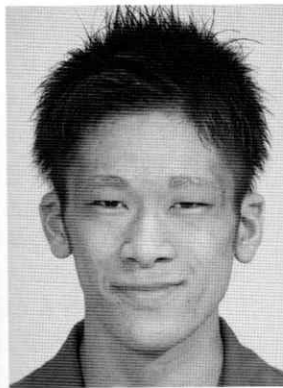
上田 健太郎
スポ科4
長浜(滋賀)
早稲田大学バドミントン部所属のお笑い芸人。コテコテの関西弁を使う。部内唯一の大学始めという特異な存在。とにかく顔がデカイ。ずば抜けてデカイ。たまに悪魔に取り憑かれる。壁打ちやフットワークの努力は見えています！頑張れ！



女子主将
中村 幸
スポ科4
富山国際大付属(富山)
富山を征服してやってきた早稲田のキティちゃん。婚約済み「どちらの動物園に就職したんですか？」と聞くと喜ぶ。クセしかない独特なリアクションステップとパワフルなうほゴリスマッシュに注目。うっほ。



岩崎 未来
国際教養4
K インターナショナルスクール(東京)
実はもう社会人…?9月入学なので少しだけ卒業が早かった。ブランドやオシャレにとっても詳しい。みんなの意見を取りまとめてくれるお姉さんの存在。日本語も英語もペラペラのバイリンガルである。ペラペラペラペラ。



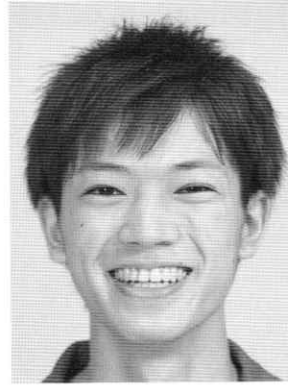
渡辺 俊和
スポ科3
埼玉栄(埼玉)
個性派集団の三年生のリーダー。基本的にクール(の顔に見える)。真面目な顔でスマホを眺めている時は韓国のアイドルの動画を観ています。筋トレ、プロテインが大好きで部内一のムキムキ。腹筋板チョコ。



浅原 大輔
スポ科3
聖ウルスラ英智(宮城)
お酒と女の子が大好きな遊び人。コミュニケーションのイケメン。「大ちゃん」の愛称で親しまれています。誰にでも好かれる優しく明るい性格。いつもお世話になってます。でもあんまり遊びすぎないようにね…



吉村 徳仁
スポ科3
高岡第一(富山)
早稲田のお祭り男。応援団長。ノリと笑いは大学界トップクラス。とにかく動きのキレが半端じゃない。一挙手一投足全てが面白い。でも実はかなり心配症。ホントに!もっ!自信をもってほしい!



鈴木 朋弥
商3
聖ウルスラ英智(宮城)
爽やかイケメン。実態はまんぢや坊主でちょっかい出すのが大好き。それでもゴダブを務める実力者。審判の反応が恐ろしく早い。どんな動体視力してるんだと常々思う…実は産学部です。ちゃつら。



桃井 伶実
スポ科3
金沢向陽(石川)
部内で一番怒ったら怖そうランクNo.1。プレー中の鋭い眼光には注目してほしい。でも実はとっても優しいマクドナルドの店員さん。スマイルが素敵ですよ。長いラリーでたまにスマイルが見れます。抹茶が大好物。



松本 茜
社学3
九州国際大付属(福岡)
精神状態の波が激しすぎる熊本県産の不思議ちゃん。プレーの全てが独特で特殊。粘り強いプレーに定評がある。ロングハイサーブと顔フェイントはクセしかない。あらぬ方向に顔がむじ曲がるので注目だ。



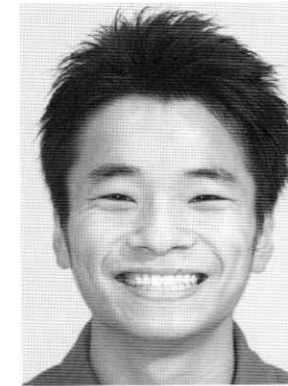
中根 智華
教育3
関東第一(東京)
すばしっこい小学生。イケメンには目がない。部活の仕事においてはプロフェッショナルで的確な指示を出してくれるしっかり者。小学生までしかかからない病になったりしてたからホントに小学生かも…



片桐 悠夏
人科3
西武台(千葉)
いつも練習場所に現れるのはぎりぎり同期をひやひやさせているらしい。アニメや漫画が大好きで割とオタク説が浮上している。フィットネスルームではいつも走っている。ダイエット頑張ってください。



小野寺 雅之
スポ科2
埼玉栄(埼玉)
早稲田のダブルスのエース。シングルスを任せても頼もしい実力者。いつも愛らしいスマイルで周りを和ませる。試合になると勝負師になり巧みなプレーを繰り出す。楽しいイベントごとにはいつも本気です。



川本 寛樹
文構2
早大本庄(埼玉)
顔でかランキングNo.2。イイ声の持ち主でその声が大にも少しずつ浸透し始めている事が嬉しいらしい。早稲田1のオタク。特定の二次元のコンテンツが大好きで1回のライブで数十万円使ったとか…ほどほどにね。



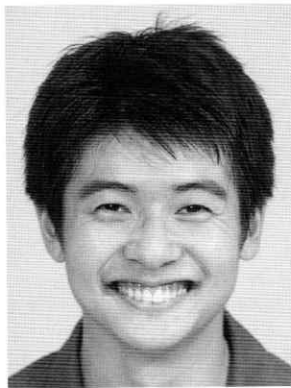
吾妻 咲弥
スポ科2
富岡 (福島)

早稲田女子のエース。物欲モンスター。食欲おばけ。芋のスイーツが大好きで喰らい尽くしている。時々急に踊り始める事があるがすごく怖い。きっと何かに憧れているのだろう。ディスクを取るのには上手になった。



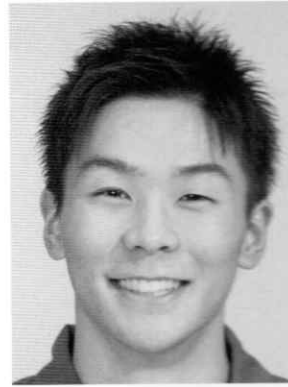
大林 拓真
スポ科1
埼玉栄 (埼玉)

インハイを制して早稲田にやって来た期待のルーキー。イケメンでカラダも締まっていて強い。完全無欠の漢。フィジカルも相当強い。どっからでも驚異的なミサイル級のショットを打てる。活躍に注目だ。



友金 利玖斗
スポ科1
神戸村野工業 (兵庫)

兵庫原産トリッキープレイヤー&メンタルプレイヤー。早稲田には存在しなかったタイプのファンタスティックなプレーで観る人を魅了する。秋リーグでも一年生ながら素晴らしい活躍を見せた。でもとんちんかん。ごじゃ。



牧野 倫太郎
スポ科1
豊橋東 (愛知)

愛知からやってきた一般入試でスポ科に入ってきた珍しい存在。基本的には無口で静かだがたまに吐く毒は強烈である。あまり人前では見せないがフランス語と英語ができる。彼の闇は深そうだが覗かないでおう…



平野 沙妃
スポ科1
九州国際大付属 (福岡)

三年の松本を追って早稲田に入ってきた九国からの使者。ルーキーながら堂々としたプレーを見せ活躍している。名字が平野というだけであだ名は「ノラ」となった。彼女のレシーブの捌きには注目。オッケーバブリー。



鈴木 ゆうき
社学1
聖ウルスラ英智 (宮城)

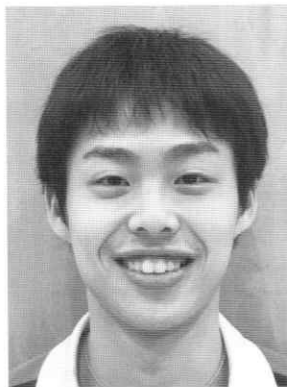
選抜王者の期待のルーキー。リーグ、東日本でも大きく貢献してくれた。男子にも引けを取らない強烈な打球が持ち味である。ある俳優を彼氏と言っている。怖い。常に笑顔で過ごしているが、本心は何を思っているのだろうか…

KEIO



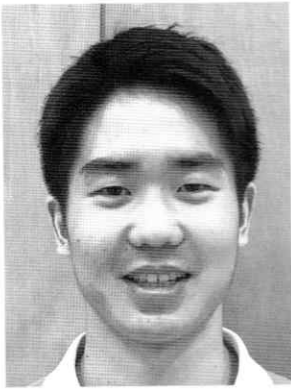
主将
高嶋 道
総合4
富岡(福島)

我が慶應の主将高嶋道。バドミントンをする彼の背中からは凄まじい威厳が放たれるが、ひとたび話を始めたときの天然さには非常に驚かされる。そんな彼は今年こそ永遠のライバル古賀穂を倒し、有終の美を飾る。



副将
野田 龍
総合4
湘南(神奈川)

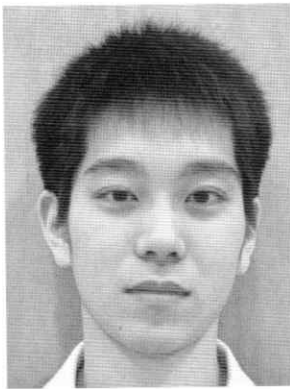
チームの元気印“のでい”。練習では常に声を出し、周りを鼓舞している。慶應の最終兵器的存在である彼は、持ち前のスピードと声の大きさとで慶應に勝利をもたらすだろう。



主務
井本 直孝
経4
慶應義塾NY学院 (NY)
優しく頼りがいのある我らの主務!後輩の面倒見はいいが、主務として副務金子の甘えは許さない。大学初めとは思えない綺麗なフォームをご覧ください!



高山 智也
法政4
慶應義塾 (神奈川)
常に勉強をしている学生の鑑。新聞と本は必ず持っており、その頭の中は思考の海で広がっている。そんな彼は角度と破壊力のあるスマッシュでラリーを終わらせる。それに持ち前の頭脳が加わって、まさに鬼に全棒。



榎本 勝行
理工4
川越東 (埼玉)
オフなど関係なく、黙々と練習に励み無限の体力を得た。仕事も完璧にこなし、周囲からの絶大な信頼を勝ち取っている。4年間で築き上げた粘りのプレーで早稲田陣を追い込んでいきます。



女子主将
片山 有香里
経4
鷗友学園 (東京)
女子の個性派集団をまとめるお姉さんの存在。昨年、怪我で苦しんだ分、誰よりも練習に対する思いが強い。女子主将として最後の早慶戦、有終の美で飾ります。



富岡 有希奈
商4
横浜国際 (神奈川)
周りがよく見えて、懐が広くみんなを支える慶應バド部のお母さんの存在! 4年間でたくさんの事を乗り越え、積み上げてきたものを、最後の早慶戦でみせます!是非、ご期待下さい!!



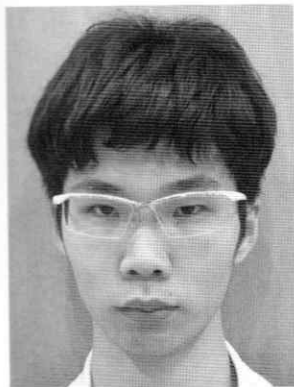
清水 遼郁
経3
慶應義塾 (神奈川)
ダブルスのスペシャリスト、ずーしみ。少し恐い雰囲気とは裏腹に、優しい(?)心の持ち主。バドミントンに対する情熱は凄まじく、週7の練習も厭わない。次世代の中心人物である彼は、今年もダブルスで勝つだろう。



副務
金子 凱
法政3
公文国際 (神奈川)
慶應の熱血系ことガイさん。試合では誰よりも大きな声を出して相手を圧倒する一方、副務として部を支える縁の下の力持ちでもある。さあ早稲田よ! come on!!!

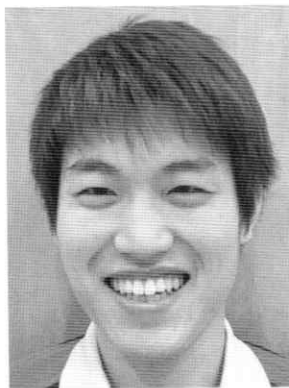


吉弘 昌功
商3
慶應義塾 (神奈川)
人生経験が豊富な3年学年リーダー!来年は彼が部を引っ張っていくのか...?凄まじい筋トレによって、彫刻のような肉体を手に入れたイケメン。一見クールに見えるが、その胸の内には熱い闘志を秘めている。早慶戦はダブルスで勝利か!?



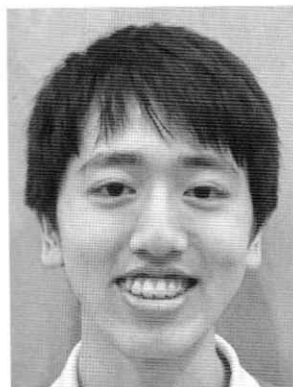
岡部 庄之介
理工3
新潟(新潟)

ここ1番の試合ではゴジラのような雄叫びを上げる次期会計兼勧誘の岡部。上半身の筋トレに精を出し、その身についた筋肉と持ち前の関節の柔らかさから繰り出されるスマッシュは一級品。早稲田のレシーブを粉碎してくれること間違いない。



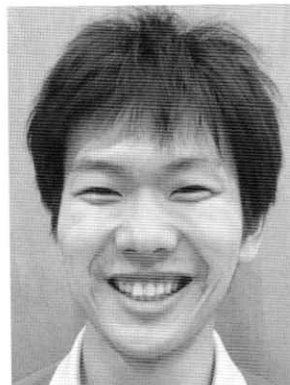
佃 啓介
法法2
広島なぎさ(広島)

部活に対して誰よりも全力的なツクD。いつもなんだかタイミングが悪いが、それも彼ならではの愛されキャラのひとつ!部内随一の綺麗なフォームの持ち主は、ミスの少ないプレーで早稲田を翻弄する。



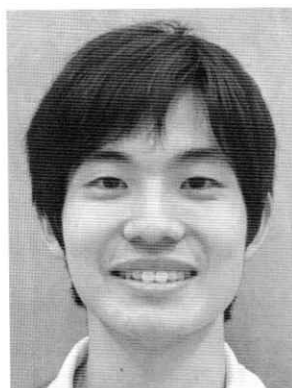
渡辺 圭
法法2
慶應義塾志木(埼玉)

周りをよく見て、冷静に行動する、部1番とも言えるしっかり者。バドミントンは大学初めだが、周りのプレーを沢山盗み、秀でた身体能力をいかし、どんどん成長している!チームを支えながら、一生懸命練習に励む渡辺の活躍に期待!!



三木 隆太
商2
慶應義塾湘南藤沢(神奈川)

部内随一のコミュカを持つダブルラーの三木。そのコミュカの高さを活かし、春の他大学との合同合宿では多くのアドバイスを頂いていた。さらに、先輩からの信頼も着々と得ている。去年の早慶戦から1年を経て進化したみきていに目が離せない。



引地 亮太
理工2
川越(埼玉)

頭が良く働き、常に先のことを考えている賢人。しかし、予想外のことが起こると慌てふためく。そんな彼のプレーは奇想天外。トリッキーなショットで相手の予想を見事に外す。そんなヒッキーは、今年こそ早稲田を翻弄してくれるだろう。



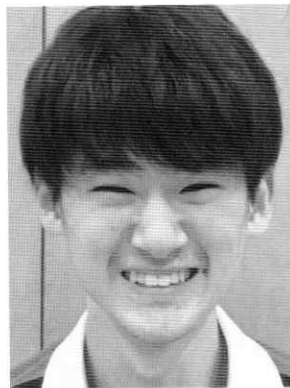
中元 悠花子
総合2
立命館慶祥(北海道)

いつも化粧ポーチをもつ、女子力いっぱいの彼女。だが、コートにはいると一転して、コートを駆けずり回る。天敵は、湿気、暑さというthe北海道ガール。猛暑を乗り越え一皮むけた姿をお見せします。



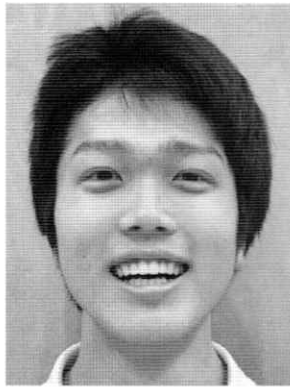
和田 穂代
総合2
聖ウルスラ学院英智(宮城)

人を惹きつける愛らしい笑顔を持ち、いつも元気いっぱい!いつもカバンが少しだけ空いていたりするがそれもお愛嬌!何事も全力で取り組み、女子のムードメーカー&エース!誰よりも努力家で、妥協は許さない、和田の粘り強いプレーに期待!!



稲原 溪
経1
日比谷(東京)

都立でナンバー1を誇る日比谷出身の稲原。そんな彼の試合メールの戦評は常に話し言葉で、添削する上級生の手を焼いている。明晰な頭脳はバドミントンと筋トレにほとんどが費やされている。頭の切れを活かしたバドミントンに注目だ。



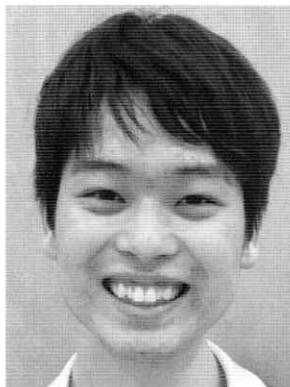
結城 拓也
商1
浦和(埼玉)

頭角を表してきた期待のルーキー。リーグ戦では格上相手に渡り合って、追い詰めた。先輩への気遣いも忘れず、仕事も完璧。こんな人材他にはいない。お前が勝たなきゃ誰が勝つ!筆頭注目選手の結城拓也くんです。



高科 幸平
理工1
サレジオ学院(神奈川)

スーパールーキーこうちゃん。入部してすぐに主将とダブルスを組みリーグ戦を戦い切るタフネスガイ。リーグ戦で大きな勝利をもたらしてくれた彼は、早慶戦でも暴れるらしい!?



竹本 功貴
理工1
高岡(富山)

富山からやってきた「大物」タケちゃん。高身長から繰り出される強烈なスマッシュと正確なネットには目を見張るものがある。そんな彼は、豊富な物理の知識による計算されたショットで相手を圧倒すること間違いなし。



田村 侑己
環境1
八王子東(東京)

イケメン・高身長・面白い・真面目。こんな完璧な彼は部内でも愛されており、よくいじられている。ダブルスを得意としている彼が前衛に立てば、その圧倒的な高さで早稲田さえ萎縮させるだろう。



小沼 みなみ
文1
西武台(千葉)

一見、静かで人見知り。だが、部内1の負けず嫌いでいつも闘志を燃やしている。体幹トレーニングは多少苦手だが、某くまのキャラクターのことを想えば辛くない!初めての早慶戦、早稲田から1本を取りに行きます!



福田 瑠奈
文1
大宮(埼玉)

小さな歩幅からは想像つかないくらいの早さで、長距離のトレーニングに取り組む。普段ふわふわとしたオーラを出しているが、自分に厳しく負けず嫌いな一面も持つ。入学当初から比べて、どんどん成長している福田の活躍に期待!!



監督
岩田 好造
 Kozo Iwata
 昭和63年経済学部卒
 長崎東(長崎)出身
 リクルート

部員それぞれとのコミュニケーションを大切にし、時には厳しく、時には優しく見守る慶應のビッグダディー。経済力、行動力共に慶應NO.1。



ヘッドコーチ
竹鼻 拓也
 Takuya Takehana
 法政大学卒
 金沢二水(石川)出身
 NTTドコモ

一流の技術を、体力を、そしてなによりバドミントンへの熱い思いを、日々部員に伝え続ける。彼の生き様は学びきれないほど多くのことを伝えており、常に慶應現役部員の目標である。



コーチ
平林 桂祐
 Keisuke Hirabayashi
 平成26年文学部卒
 松本深志(長野)出身
 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

その表情、優しさから、現役部員のお兄さんの存在。練習では、プレーそして、チーム運営など、様々な観点からアドバイスをしてくれ、部員達は彼を慕う。



コーチ
上村 聡
 Satoshi Kamimura
 平成30年文学部卒
 西武台(千葉)出身
 キリン

前主将兼エース。練習中には、多くの技術、考えを伝え、今でも圧倒的存在感を誇る。社会人になり、ビールにより所々大きくなり続ける彼は、今後ますます後輩から頼りにされる存在となるだろう。



コーチ
川原 優
 Yu Kawahara
 平成30年総合政策学部卒
 九州国際大学付属(福岡)出身
 リクルートキャリア

社会にでて、さらに様々な考え方を学び、日々部員にも伝えている。女子部員だけでなく、男子部員をもその優しさで包み込む。

(※)各コーチの紹介欄に掲載されたコメントは、各コーチの人柄や生き様に対して抱いている印象を基に野田副将が書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないことをおことわりしておきます。